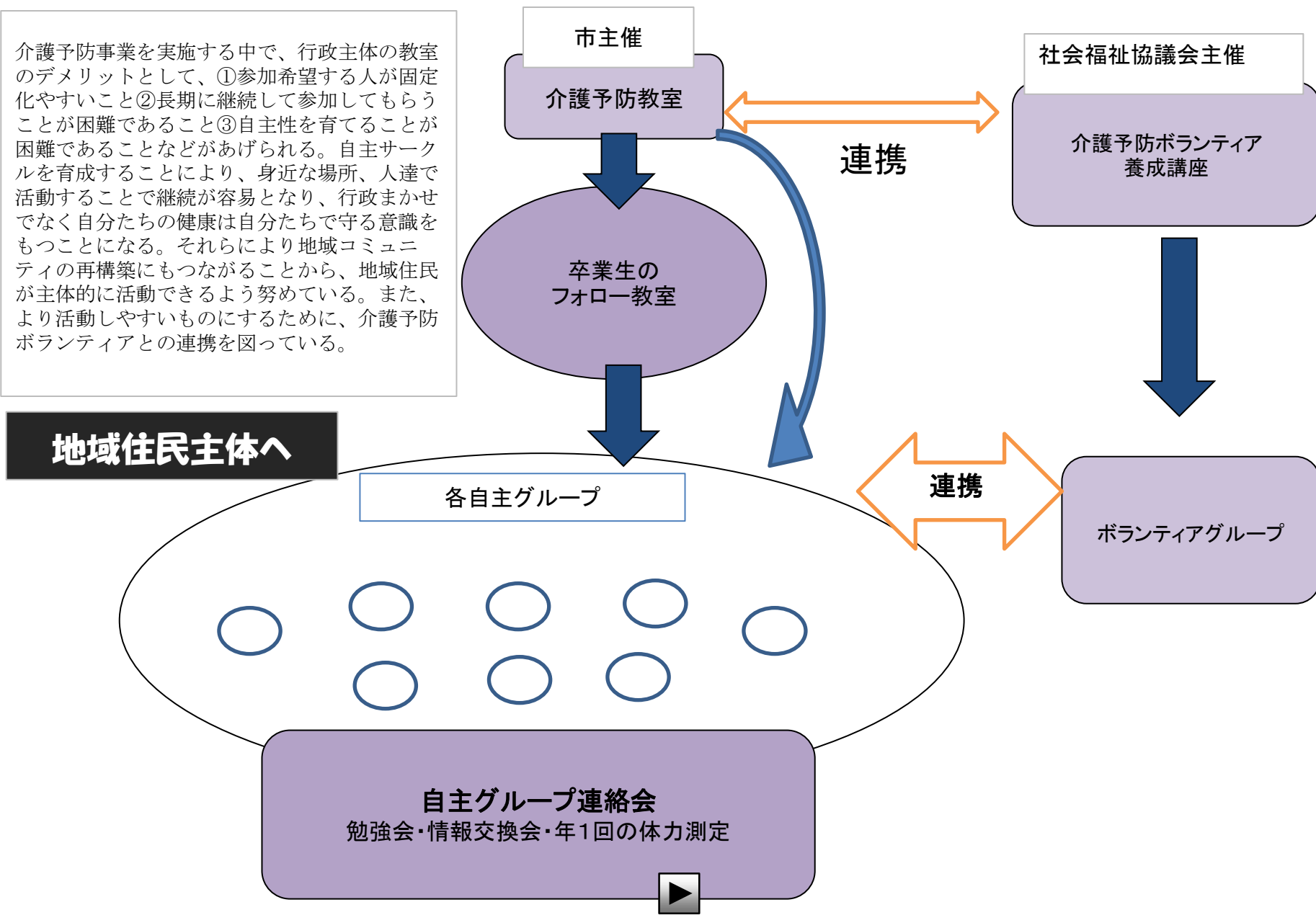


自主グループ育成と介護予防ボランティアについて

介護予防事業を実施する中で、行政主体の教室のデメリットとして、①参加希望する人が固定化しやすいこと②長期に継続して参加してもらうことが困難であること③自主性を育てることが困難であることなどがあげられる。自主サークルを育成することにより、身近な場所、人達で活動することで継続が容易となり、行政まかせでなく自分たちの健康は自分たちで守る意識をもつことになる。それらにより地域コミュニティの再構築にもつながることから、地域住民が主体的に活動できるよう努めている。また、より活動しやすいものにするために、介護予防ボランティアとの連携を図っている。





地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

大 阪 府

① 区町村名	泉大津市
② 人口（※１）	76729 人 ()
③高齡化率（※１） （65 歳以上、75 歳以上それぞれについて記載）	65 歳以上 21.3 % () 75 歳以上 9.7 %
④取組の概要	地域での自主活動サークルを育成・支援しており、立ち上げのサポートだけでなく、参加者のモチベーション維持のために講話や講師派遣、体力測定等継続への支援をおこなっている。また社会福祉協議会と共催で介護予防ボランティアを養成し、社協のボランティアセンターにグループを登録し、必要なときにはボランティア派遣を要請できるとともに、ボランティア会員が中心となった自主活動グループが出来てきている。
⑤取組の特徴	・自主的な活動が地域住民を中心に広がりつつあること、それに関わるボランティア養成を社協と協力して実施し派遣してもらっていること。
⑥開始年度	平成 24 年度
⑦取組のこれまでの経緯	平成 23 年度より教室参加終了後の希望者で自主活動グループを育成を開始する。24 年 6 月ボランティア養成講座開始しその後登録したボランティア会員は自主活動グループにも積極的に参加している。
⑧主な利用者と人数	地域住民 自主サークル登録数 245 人 ボランティア登録数 17 人
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	・地域住民 ・関連団体：社会福祉協議会
⑩市区町村の関与（支援等）（※２）	・希望者のサークル立ち上げサポート及びフォローアップとして勉強会や運動実技支援など。 ・自主活動グループ連絡会の開催
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※３）	平成 24 年度地域福祉・子育て交付金（介護保険特別枠）1,049,000 円
⑫取組の課題	市内でもまだサークル実施されていない地域での活動
⑬今後の取組予定	活動しやすい場所、会館等の整備と継続への支援
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	泉大津市健康福祉部高齢介護課 電話 0725-33-9045

※１ 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齡化率を（ ）内に記載してください。

※２ 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※３ 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。





泉大津医師会における医療と介護の連携

介護保険制度

・平成12年4月～

iZak
泉大津在宅医療
研究会

・平成12年10月～
・在宅医療従事者の連携強化
・医療従事者の知識の向上
・在宅初心者への教育

イカロスネット
(泉大津医療介護地域
推進ネット)

・平成23年5月～
・医療・介護の連携・交流
・継続した事例検討

イカロスネット立ち上げの経緯

平成22年5月iZak講演後、平成22年12月にいけ！ネット(藤井寺市)に見学(参加)
当地区でも医師会主導で立ち上げることを計画。
平成23年1月に行政・高齢介護課課長に提案。
泉大津市包括支援センターと共同で取り組むことにした。

泉大津在宅医療・介護連携の会世話人会の開催 平成23年3月
地域包括支援センター (所長・保健師)
ケアマネ会 訪問看護代表
医師会





地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

大 阪 府

①区町村名	泉大津市
②人口（※１）	76729 人 ()
③高齢化率（※１） (65 歳以上、75 歳以上それぞれについて記載)	65 歳以上 21.3 % () 75 歳以上 9.7 %
④ 取組の概要	医師会が中心となり、地域包括支援センターや介護事業所等関係職種が集まり、講演会、事例検討、情報交換等を実施している。
⑤ 取組の特徴	医師会主導で早い時期から勉強会やネットワークを立ち上げ、多くの参加者があること
⑥ 始年度	ネットワークの開始は 23 年 5 月
⑦取組のこれまでの経緯	平成 12 年より在宅医療の携わる職種を対象にした研究会を医師会が立ち上げる。23 年度他市のネットワーク見学をきっかけに本市も取り組むこととし、地域包括支援センターと医師会共同で関係職種によるネットワーク（通称イカロスネット）が開始される。
⑧主な利用者と人数	在宅医療介護に関わる全ての職種 1 回の開催あたり約 70 名前後
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	泉大津市医師会 在宅医療介護に関わる関連機関
⑩市区町村の関与（支援等）（※２）	今後、市民への啓発 PR 等
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※３）	ネットワークの進捗状況把握やオブザーバー
⑫取組の課題	・参加者の固定化 ・医師の参加が少ない ・運営費用
⑬今後の取組予定	・定期的な情報交換、講演会、グループワーク等
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	泉大津市健康福祉部高齢介護課 電話 0725-33-9045

※１ 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を()内に記載してください。

※２ 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※３ 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。



泉大津市における認知症関連の取り組み

取り組んでいる事業

今後の取り組み

切れ目ない支援

一次予防
(普及、啓発)

二次予防
(早期発見、早期治療)

三次予防
(リハビリ)

認知症予防の
一般啓発講座(社協)

認知症予防の健康教育
(市高齢介護課)

**認知症キャラバンメイトの養成・
サポーターの養成**
(事務局: 高齢介護課)
H25.1.22現在 メイト(登録) 94名
サポーター 959名

市民への啓発
認知症地域サポート事業(H24)
○認知症フォーラム
(講演、**ミニシンポジウム**)
○予防講座「あたまいぎい講座」
①認知症サポーター養成講座
②予防のための実践講座
③認知症当事者・家族の話
④徘徊SOS模擬訓練
(市高齢介護課、包括)

こころの健康相談(保健所)
<精神科医の相談、診断、面接、訪問>

一般・専門職向けの講座
受診へのつなぎ(精神科の病院)

認知症予防プログラムの提供
(街かどデイ)

専門相談(認知症疾患センター・水間病院)

専門的な通院・入院治療(精神科の病院)

在宅での療養支援(訪問看護)

介護保険サービス事業所による
本人・家族への対応・相談(介護保険)

医療と介護の連携(連携・交流会)
イカロスネット(H23~年2回): 認知症関連の事例検討等

専門相談窓口(市障害福祉課)

介護者家族の会内のプログラム(社協)

出張福祉なんでも相談(包括ケア会議構成員)

高齢者の総合相談窓口(包括)

認知症患者への個別支援
(通所、入所のサービス内)

認知症相談会
(グループホーム)

**専門医へつないでくれるかかりつけ医
認知症サポート医によるかかりつけ医の
対応能力向上研修等(医師会)**

施設ケアの質の向上
(介護保険事業所)

相談窓口の周知

認知症の方の家族の会(若年性)

認知症の方と家族に対する社会資源の開発

医療と家族、医療と介護などの連携

認知症の方を見守ってくれる地域の環境

認知症に関する情報をつなぐネットワーク

包括ケア会議認知症部会作成資料
を一部改変H25.1月